

子育て支援だより

「子育てワンポイントアドバイス」

第106回 『学力とメディアへの接し方』

こころの相談員 小林 節子

以前にこの欄で「スマホに子守をさせないで」として、乳幼児をメディア漬けにすることの発達への悪影響の可能性を述べました。8月末の[朝日新聞]に、全国の小6と中3を対象に実施された学力調査の正答率とメディアの接し時間の相関関係についてまとめた記事が掲載されていました。それによると、「スマホでのメールやインターネットの使用時間が長い子ほどすべての教科で平均正答率が低かった。同様に、平日にテレビやパソコン、携帯電話などでゲームをしている時間も成績と関係していた」と、あります。

学齢期の子を持つ親で、子どもの学校の成績に関心のない親はほとんどいないでしょう。それどころか、就学前から子どもに英語や算数を習わせている親が多いのが実情です。ですが、上記の結果を見ても、子どもの学力の向上を望むなら、ゲームや携帯電話の使用時間を短くし、親子で新聞を読んだり、テレビのニュースを見て社会問題に関心を持たせたり、読書の時間を増やしたり、また、朝食をきちんと食べさせたりなどの生活習慣を整えたりすることが大切だということがいえるでしょう。ますますメディア依存が増す中で、親は子どもにとって何が重要かを忘れないようにしたいものです。

※小林相談員は、あさひ園・カンガルーあさひなどで相談活動を行っています。

8月活動報告

プチボラ事業 8月25日（月） 学童ランチパーティー

みんなでおにぎりと
フルーツたっぷりのパフェを作りました。
おいしかったね♪



ボランティアのみなさんのご協力のもと
楽しいランチパーティーを開くことができました。
ありがとうございました！